

三浦の子どもを育てる会が 文部科学大臣表彰を受彰

三浦の子どもを育てる会が「令和2年度地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰」を受彰し、2月25日(木)、同会を代表して山沖幸喜会長、野並誠路副会長、吉本千史校長(三浦小)がオンラインで表彰式に出席しました。

同会は、地域住民を中心に約25名で構成される団体。未来を担う子どもたちを学校だけでなく、地域全体で育てていこうと活動しており、定例会を重ねながら地域や学校の行事を協力し行っています。

吉本校長は、「地域の方々が学校にとっても協力的で、そのことが普段の活動にも表れている。地域と学校が一緒になって総がかりで



写真左から野並副会長、吉本校長、山沖会長

取り組み
んでい
ること
が表彰
いただ
いた理
由では
ないか
と話し
ました。

田舎寿司の文化を映像で保存

集落活動センターであいの里蝮川が田舎寿司の作り方を映像化し、後世に残そうと、2月24日(水)、IWKTVの協力のもと撮影を行いました。

同センターでは、田舎寿司を作る体験を施設の体験メニューとして提供していますが、作り方を教えらるる地元住民が少なくなってきたことから、今回の企画が提案されました。



寿司を巻くシーンの撮影

撮影したのは、酢飯を海苔や卵、昆布で巻いて作る「巻き寿司」と、シイタケやミョウガ、コンニャクを酢飯に合わせる「握り寿司」で、具材に味付けをするための出汁をとるシーンからできあがりまでを細分化しながら撮影しました。

同センター代表の金子広子さんは、「昔は行事の度に集まって、自然と地域の人作り方を覚えていたが今は難しい。映像という形で



できあがった「田舎寿司」

の中で3月中に放送する予定とのこと。また、全行程を資料映像にしたものは、今後DVD化され、地域で活用される予定です。

地域の文化を残していけたら」と話しました。撮影した映像は、短縮編をIWKTVの番組

第31回あかつき賞受賞者決定

あかつき賞は、黒潮町出身である上林暁氏の業績を顕彰し、町の教育文化の発展と向上を図ろうと結成された上林顕彰会(平成元年結成)が、活動の一環として平成2年から実施しています。

町内小中学校児童生徒の応募の中から、優秀作品が選ばれ、あかつき賞が授与されるものです。

3月6日(土)に大方あかつき館で行われた表彰式では、応募数47作品から選ばれた受賞者7名が表彰状と楯を受け取りました。

受賞者・受賞作品(※敬称略)
南郷小学校 1年 石橋 愛海
「おとうとのおせわ」

拳ノ川小学校 2年 梅澤 陽日
「はじめてのくぎぬき」

佐賀小学校 3年 辻 心々絆
「チョウを育てて」

伊与喜小学校 4年 生駒 賢太郎
「もちつき」

田ノ口小学校 5年 川村 咲笑
「巻き寿司作り」

南郷小学校 6年 村上 潤弥
「ふるさとの海や川を守りたい」

佐賀中学校 3年 明神 心嶺
「どんな人にも自分の意思で生きる権利がある」



受賞者